（別紙３）

公表　事業所における自己評価総括表

○事業所名	自立の株式会社放課後等デイサービスキッズプライム牛久教室			
○保護者評価実施期間	2025年　3月　20日	～	2025年　5月　20日	
○保護者評価有効回答数	（対象者数）	30	（回答者数）	20
○従業者評価実施期間	2025年　3月　20日	～	2025年　5月　20日	
○従業者評価有効回答数	（対象者数）	6	（回答者数）	5
○事業者向け自己評価表作成日	2025年　5月　20日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	PTにより体幹、リズム感を学べる。 協調性を図り、達成感を感じることもできる。	１度のPTで５人までと言いう少人数制で行う為のびのびと運動ができるようにしている。 子どもたちからのリクエスト曲をかけてわくわく感や参加率をあげている	時間に余裕がある際は２部制にし、より多くの子どもたちが参加できるようにしている。
2	PC講座 基本的なパソコン操作を覚えられる	ただの文字打ちにならないよう、カレンダーや感謝状など、子どもたちが完成させた作品が普段使い出来る様に工夫している。	季節に合わせたりレベルに合わせて学習できるよう、作品のバリエーションを広げていきたい
3	日々の専門支援 毎日５人の少人数制で様々なレクレーションを行い運動から手先を使う活動まで幅広く支援している。 運動支援で運動不足の解消や協調性の強化等を図り、手芸や工作等で器用さ、集中力の強化等を図っている。	毎日ランダムで選出した５人（少人数制）でレクレーションを行うように時間をつくっている。 個別支援に基づいたレクレーションを取り入れるようにしている。（体を動かして欲しい、細かな作業に取り組んで欲しい等）	定着している運動や作業だけでなくバリエーションを増やして行きたい

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	一つ一つの部屋が狭い	部屋数は多いがスタッフの配置問題で使える部屋が限定されてしまます	スタッフの見守りは出来る範囲での部屋の解放
2	バリアフリーではない	建物の構造上バリアフリーは難しい	階段の見守りは必須。 ふらつきがある子どもは支えながら階段を使う 追い抜き禁止、駆け上り降り禁止などのルールの徹底
3			